

# 小郡市歴史文化基本構想

## 【概要版】



2020年3月

小郡市教育委員会

# 1 歴史文化基本構想策定の背景と目的

古くから交通の要衝として栄えた小郡市は、文化遺産の宝庫です。国指定史跡小郡官衙遺跡群を始めとする原始・古代の遺跡、九州南北朝最大の戦い「大保原（大原）合戦」に関連する史跡、江戸時代の宿場町松崎を代表する旅籠油屋や、近代小郡発展の礎を築いた櫛蠶産業の象徴とも言える平田家住宅・庭園など、挙げればきりがありません。

また、奈良時代の『肥前風土記』に「媛社の社」として登場する媛社（七夕）神社では、毎年盛大に夏まつりが行われ、全国から数十万枚の短冊が届けられます。また、市の農業を支える宝満川を始めとする川や水路では、ダブリュウ・水まつりなど水に感謝を表すまつりが行われ、さらに市内の多くの場所で獅子舞を見ることができます。

こうした環境の中、小郡市の文化財行政は、これまで特に重要な文化財を単体で指定・登録し、保護・継承してきました。しかし、指定・登録された文化財の周囲には、それを生み出す基盤となった文化を表すものや、文化財を作成するための材料など、その文化財を価値付ける文化的・環境的な様々な要素が存在しています。

よって今回、文化財を指定・未指定にかかわらず幅広く関連付けて捉え、「関連文化財群」や「歴史文化保存活用区域」の設定を行い、文化財を総合的かつ的確に保存・活用するための指針となる「小郡市歴史文化基本構想」を策定しました。この構想を、ふるさとの魅力あるまちづくりへとつなげることが目標です。

## 「小郡市歴史文化基本構想」策定で期待される効果

- 地域に根差した「ほんものの歴史」を郷土学習の基礎資料として、教育や学習等に効果的に役立てることができる。
- 歴史文化の保護や景観保全について、他の行政部局との効果的な連携を図ることができる。
- 新たな観光資源の掘り起こしにつながる。
- 地域の魅力を再発見し、共有する場を持つことで、地域の組織力を維持し、まちづくりを発展させる重要な要素となり、適切な文化財の保護・継承へとつなげることができる。



小郡官衙遺跡群小郡官衙遺跡  
(国指定史跡)



平田氏庭園  
(国登録記念物)

## 2 小郡市の歴史文化の特性

小郡市では、中学校区を基本単位として地域に残る文化遺産の<sup>しっかい</sup>悉皆調査を行い、約3,850件を登録しています。その分類や各校区の特徴は以下の通りです。

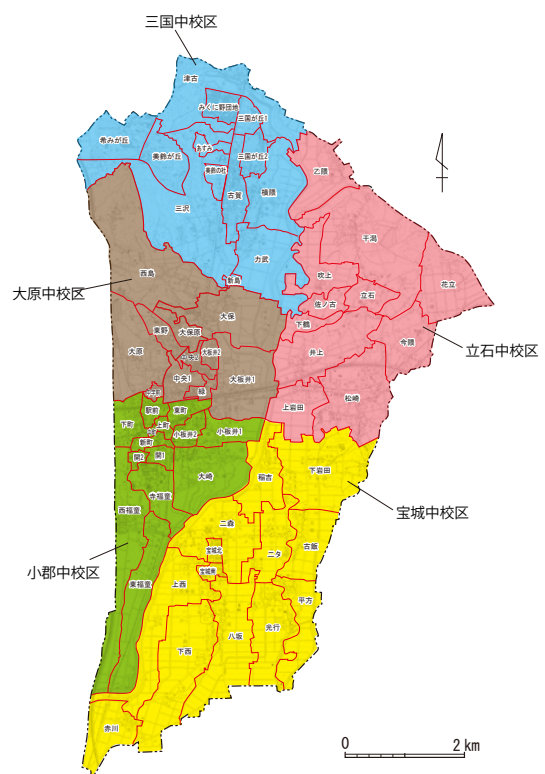
小郡市内の文化遺産分類表（市内全域）

	遺跡	遺物	建築物	まつり	自然	樹木	信仰	水路等	石造物	跡	地域	道	風景	墓	木像	歴史	神社	その他	計
寺社	1	1	109	43	2	56	1	2	1153	0	0	1	5	6	44	2	62	73	1561 (40.6)
寺社以外	151	13	362	30	21	44	7	58	1070	50	16	46	54	39	66	93	0	169	2289 (59.5)
合計	152 (3.9)	14 (0.4)	471 (12.2)	73 (1.9)	23 (0.6)	100 (2.6)	8 (0.2)	60 (1.6)	2223 (57.7)	50 (1.3)	16 (0.4)	47 (1.2)	59 (1.5)	45 (1.2)	110 (2.9)	95 (2.5)	62 (1.6)	242 (6.3)	3850 (100)

※単位は件、( )内は%

校区名	概要
小郡	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部には江戸時代以降栄えた小郡町のまちなみが残り、南部には田園地帯が広がる。</li> <li>小郡町は、「彦山道」「博多道」「大保道」など、街道の交差点として重要な位置付け。</li> </ul>
大原	<ul style="list-style-type: none"> <li>弥生時代の大保横枕遺跡、小郡・大板井遺跡群、古代の小郡官衙遺跡がある。</li> <li>「旧筑前街道」沿いを中心に、中世の集落や大保原（大原）合戦関連の史跡などがある。</li> </ul>
三国	<ul style="list-style-type: none"> <li>「旧筑前街道」と宿場町横隈宿が往時の風景を残す。</li> <li>弥生時代の集落遺跡、古墳時代に鶏形土製品が出土した津古生掛古墳は有名。</li> </ul>
立石	<ul style="list-style-type: none"> <li>花立山を背景に豊かな田園地帯が広がる。</li> <li>「薩摩街道」と松崎宿を中心に、旅籠油屋を始めとした多種多様な文化遺産が存在。</li> </ul>
宝城	<ul style="list-style-type: none"> <li>宝満川を中心に豊かな田園地帯が広がる。</li> <li>ダブリュウ、川まつり、獅子舞など多様な民俗行事が守られている。</li> </ul>

各地区の概要



## 3 文化遺産の保存・活用の基本方針

市民の「たから」である文化遺産を保存・活用し、未来へつなげるため、次のような目標と基本方針を立てます。

### 目 標

**市民とともに文化遺産を学び、楽しみ、内外に誇れるふるさとをつくる**

- 基本方針：
- ①地域の文化遺産について研究し、地域で価値を共有する。
  - ②地域毎に文化遺産を守り伝える体制を構築する。
  - ③地域の文化遺産の価値を発信し、まちづくりに活かす



## 4 関連文化財群

本構想においては、悉皆調査成果をもとに、小郡市ならではのストーリーとして9つのテーマを設定しました。このテーマの設定に当たっては、以下の内容を考慮しました。

- 小郡の特徴がよく表れていること。
- 有形・無形、指定・未指定を問わず、多種多様な文化財を対象とすること。
- 今後の取り組みの中で価値が広く認識され、市民と行政で共有できるものであること。

つまり、設定したテーマは小郡の歴史や文化の特性を表し、後世に継承すべきものとして、市民と行政が一体となって取り組む対象と言えます。時代性を表すもの、時代を超えたつながりを表すものなど、多様なストーリーをご紹介します。

各テーマの概要と関連文化財

テーマ	概要	主な関連文化財
津古古墳群と小郡の古墳文化  三国の鼻1号墳全景	交通の要衝である小郡には、九州でも貴重な古墳時代前期の首長墓系列が見られます。鶏形土製品など様々な出土遺物でも有名なこの古墳群出現の背景には、長期間にわたって続くヤマト王権との強いつながりがありました。	津古1号墳 横隈山古墳 下鶴古墳 花立山穴観音古墳【県史跡】 花立山古墳群 鶏形土製品（津古生掛古墳） 船を描いた土器（津古3号墳）
郡役所の教科書 小郡官衙遺跡群  上岩田遺跡出土瓦類	7～8世紀の上岩田遺跡と小郡官衙遺跡は、続く下高橋官衙遺跡（大刀洗町）も含めて、移動する郡衙として有名です。初期評衙である上岩田遺跡と仏堂の存在、さらに整備された郡衙である小郡官衙遺跡の存在は、この地域が当時の地方行政を進める上で重視されていた証です。	小郡官衙遺跡群 小郡官衙遺跡【国史跡】 上岩田遺跡【国史跡】 井上廃寺 榎先瓦【県有形（考古）】 媛社（七夕）神社
九州南北朝最大の合戦 大保原合戦  『大原合戦図屏風』	1359年、小郡市を中心として南北朝最大の合戦「大保原合戦」がありました。市内には関連する史跡や伝承が数多く残されています。平成21年には650周年記念事業を、令和元年には660周年記念事業を実施しました。市民にとって身近な郷土の歴史です。	福童の將軍藤【県天然記念物】 福童原古戦場 高卒都婆 伝善風寺 西島如来石像【市有形（彫刻）】 上岩田五重石塔【市有形（考古）】 山隈城 大原古戦場碑

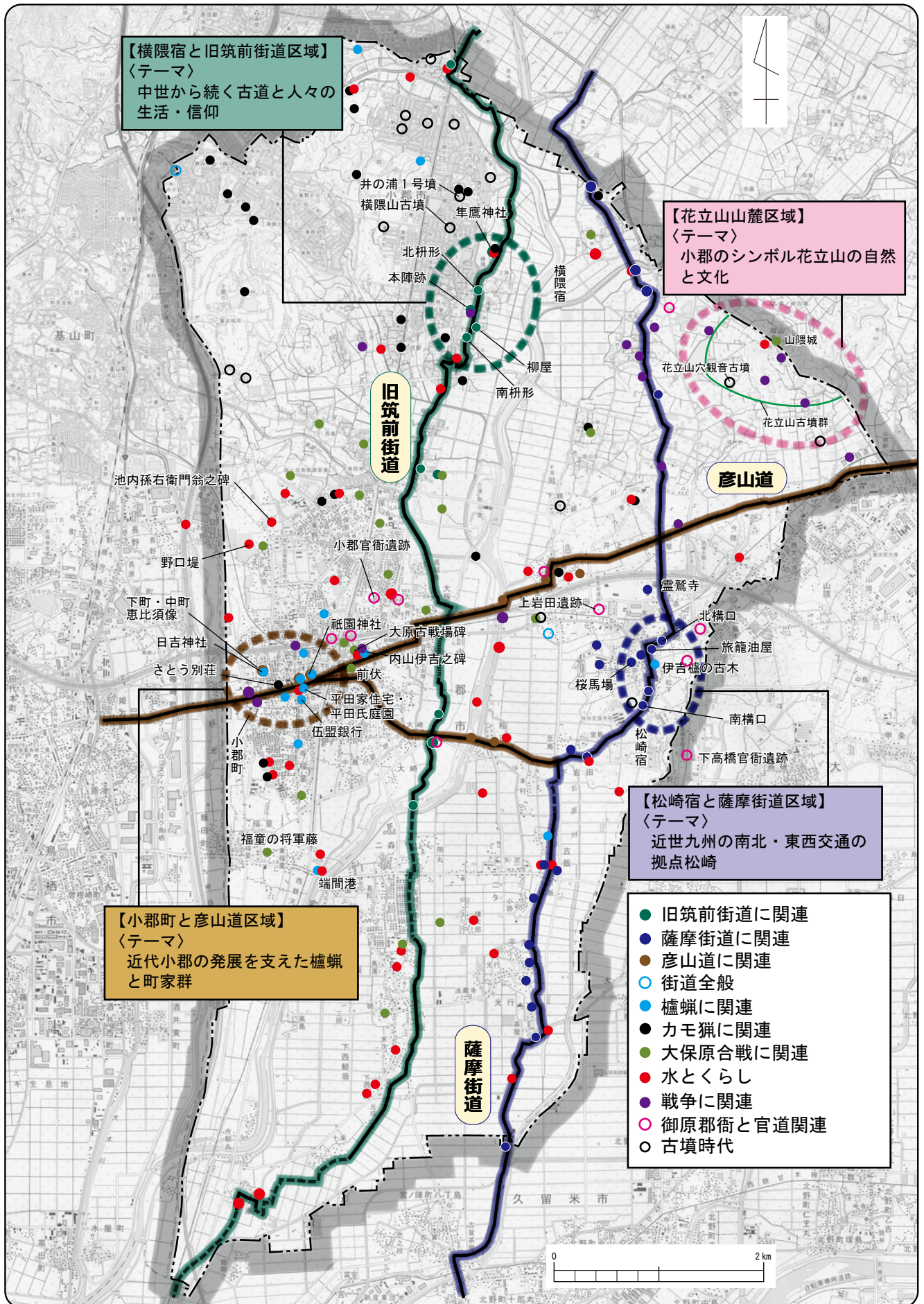
テーマ	概要	主な関連文化財
<p>水とくらし</p>  <p>ニタ鎌太郎のダブリュウ</p>	<p>市の中央を宝満川が南流する小郡市では、古くから水とともに人々の暮らしがありました。江戸時代には水の確保のために、多くの人々が活躍します。水に関するまつりの多さも小郡市の特徴を表しています。</p>	<p>薩摩街道干潟野越堤【市史跡】 池内孫右衛門翁之碑 稲吉堰 溜池と用水路 市内各地のダブリュウ・川まつり</p>
<p>近世のクロスロード 小郡</p>  <p>旧松崎旅籠油屋</p>	<p>江戸時代の小郡は、薩摩街道、彦山道、旧筑前街道が走る重要なクロスロード地点でした。松崎宿の旅籠油屋、小郡町の平田家住宅など、現在もたくさんの貴重な文化財が残されています。</p>	<p>旧松崎旅籠油屋【市有形（建造物）】 平田氏庭園【国登録記念物】 平田家住宅【市有形（建造物）】 南・北構口【市史跡】 薩摩街道筑後国境石【市有形（建造物）】 御井・御原郡境石 一里塚跡</p>
<p>榧と小郡</p>  <p>内山伊吉之碑</p>	<p>江戸時代、榧蠟は照明やびんつけ油として非常に重宝されました。18世紀中頃に小郡町で開発された「伊吉榧」は優良品種で、その出荷などにより財を得て、小郡町は大きく発展しました。</p>	<p>内山伊吉之碑 伊吉榧の古木 平田家住宅【市有形（建造物）】 端間港</p>
<p>小郡の食文化 鴨料理</p>  <p>昭和10年頃の井ノ浦堤</p>	<p>小郡の食文化を代表するのが鴨です。江戸時代の三沢（旧三国村）は藩専有の猟場で、昭和50年代まで盛んに鴨猟が行われました。鴨料理は小郡名物として有名で、市内外の多くの人々が楽しみました。</p>	<p>さとう別荘 松岡家住宅【国登録有形】 水車屋 旧三沢ピクニックセンター 各堤や深田</p>
<p>民間信仰 さまざまな祈りのかたち</p>  <p>井上公民館前 猿田彦大神</p>	<p>市内には寺社の他に、数多くの民間信仰が見られます。観音菩薩、地蔵菩薩、虚空蔵菩薩に始まり、恵比須信仰や猿田彦神信仰もあります。昭和時代までは写し霊場も盛んでした。</p>	<p>名馬池月の塚 馬頭観音像 佐野古大神宮観音堂 地蔵菩薩像 上西馬渡薬師堂 薬師如来像 井上公民館前 猿田彦大神 日吉神社 虚空蔵菩薩像 松崎上・中・下町 恵比須像</p>
<p>大刀洗飛行場と戦時のくらし</p>  <p>立石平和の碑</p>	<p>東洋一の大刀洗飛行場に隣接する小郡には、軍の施設が多く造られました。中でも旧陸軍実弾射撃訓練場は、一級の戦争遺跡です。空襲の跡も多く残り、悲惨な戦争の記憶を語り継ぐ必要があります。</p>	<p>旧陸軍実弾射撃訓練場 軍用道路 旧立石国民学校奉安殿 立石平和の碑 縣境石 横隈区有文書</p>

## 5 歴史文化保存活用区域

歴史文化保存活用区域とは、指定文化財や未指定の文化遺産が特定地域に集中している場合、それらと一体となって価値を形成する周辺環境も含め、文化的な空間を創出する区域のことです。今回、小郡市では以下の4つの区域を設定しました。

1	松崎宿と薩摩街道区域	テーマ	近世九州の南北・東西交通の拠点松崎
概要	近世の松崎宿や薩摩街道沿いには、文化遺産が非常によく残されている。松崎宿の旅籠油屋は解体・復原完了により、江戸時代当時の姿を体感することができる。また、野越堤を中心とする水利施設は、江戸時代の治水と防災を今に伝える。	保存・活用の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅籠油屋の活用方針を策定し、宿泊を含めた歴史体験の拠点とする。</li> <li>○貴重な伊吉櫓の古木を守り、再び増やす活動に取り組む。</li> <li>○松崎宿本陣跡のような、詳細が不明な構成要素の調査・研究を進める。</li> <li>○街道沿いの水利施設を防災教育の材料として活用する。</li> </ul>
2	小郡町と彦山道区域	テーマ	近代小郡の発展を支えた櫓蠟と町家群
概要	近世の小郡町は、彦山道沿いの町として大きく発展した。寺社等を含めた計画的な区画が整備され、現在も平田家住宅を始めとした町家が残されている。また、近世以降は櫓蠟産業により大きく潤い、その栄華は平田家住宅・平田氏庭園に見ることができる。	保存・活用の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近世の小郡町・彦山道に関する文化遺産と周辺環境の維持に取り組み、活用のための周遊コースを設定する。</li> <li>○平田家住宅の活用方針を策定し、宿泊を含めた歴史体験の拠点とする。</li> <li>○地域とともに案内ボランティアを育成し、各文化遺産の周知を進める。</li> <li>○未指定文化財の調査・研究を進め、その内容や重要性を周知する。</li> </ul>
3	横隈宿と旧筑前街道区域	テーマ	中世から続く古道と人々の生活・信仰
概要	旧筑前街道は、中世から利用された古道で、江戸時代前期は参勤交代道であった。宿場町横隈には南北の枡形や宿場を囲む竹藪が残り、幅広い直線道路は当時の繁栄を物語る。 他にも江戸時代に始まったとされる横隈早馬祭や、如意輪寺の如意輪観音立像など、地域の歴史を物語る文化遺産が数多く存在する。	保存・活用の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中・近世の横隈町及び旧筑前街道に関する文化遺産と周辺環境の維持に取り組み、活用のための周遊コースを設定する。</li> <li>○地元と協議を進め、宿場内に残る文化遺産の保存・活用方針を策定する。</li> <li>○貴重な町家などの滅失を避けるため、未指定文化財の内容や重要性を周知する。</li> <li>○町の構造など、詳細が不明な重要な構成要素の調査・研究を進める。</li> </ul>
4	花立山山麓区域	テーマ	小郡のシンボル花立山の自然と文化
概要	花立山には、花立山穴観音古墳を始めとした300基以上の古墳が存在し、その規模は県内有数である。この古墳の石材は江戸時代に宝満川に築かれた稲吉堰や干潟野越堤にも利用され、地域を支えてきた。 戦時中には大刀洗飛行場関連施設が築かれ、中でも旧陸軍実弾射撃訓練場は一級の戦争遺跡である。	保存・活用の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な環境維持に取り組み、史跡と自然のバランスの取れた周遊コースを設定する。</li> <li>○地元と協議を進め、山麓に残る多種多様な文化遺産の保存・活用方針を策定する。</li> <li>○貴重な花立山古墳群を市民の財産として位置付け、国史跡指定を目指す。</li> <li>○風化が進む戦争遺跡の保存に取り組み、平和学習の教材として活用する。</li> </ul>





【横隈宿と旧筑前街道区域】  
 〈テーマ〉  
 中世から続く古道と人々の生活・信仰

【花立山山麓区域】  
 〈テーマ〉  
 小郡のシンボル花立山の自然と文化

【小郡町と彦山道区域】  
 〈テーマ〉  
 近代小郡の発展を支えた櫛蠟と町家群

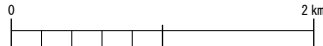
【松崎宿と薩摩街道区域】  
 〈テーマ〉  
 近世九州の南北・東西交通の拠点松崎

- 旧筑前街道に関連
- 薩摩街道に関連
- 彦山道に関連
- 街道全般
- 櫛蠟に関連
- カモ猟に関連
- 大保原合戦に関連
- 水とくらし
- 戦争に関連
- 御原郡衙と官道関連
- 古墳時代

旧筑前街道

彦山道

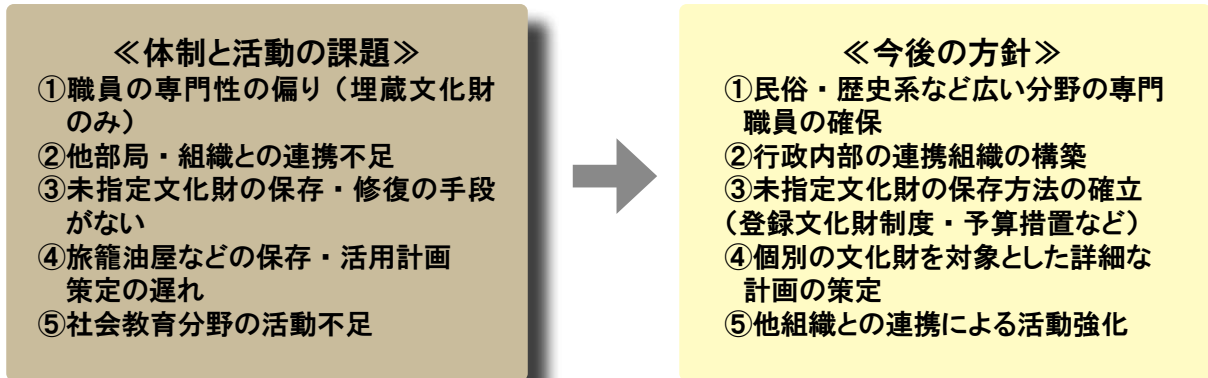
薩摩街道





## 6 歴史文化の保存・活用の推進体制

小郡市は、県内でも比較的早く文化財の専門職員が採用され、組織の拡充とともに、様々な文化財保護活動を推進してきました。しかし近年、文化財保護法で取り扱う文化財の範囲が拡大し、組織として十分な取り組みができていないとは言えません。今後は専門分野の拡大、他部局・団体との連携など、積極的な活用に向けた体制づくりが求められます。



## 7 これからの歴史文化保存・活用の取り組み

市内の歴史文化の把握や組織の拡充が進むと、様々な取り組みを進めることができます。「小郡らしいまちづくり」の実現を目指して、以下の活動に取り組みます。

<b>文化財を知る取り組み</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●学校教育の充実</li><li>●社会教育の充実</li><li>●継続した文化遺産調査</li></ul>	<b>文化財を活かす取り組み</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●文化財の公開</li><li>●登録文化財の新しい活用方法の検討</li><li>●文化財整備の推進</li><li>●多種多様な文化財の保存・活用が可能な施設の整備</li><li>●福岡女学院大学を始めとした大学等との連携の取り組み</li><li>●文化財保存活用地域計画の策定</li></ul>
<b>文化財を守る取り組み</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●民俗芸能の担い手育成</li><li>●ネットワーク作り</li><li>●防災・防犯対策の充実</li><li>●文化財修復の推進</li><li>●市民が主体的に取り組む仕組みづくり</li></ul>	

小郡市歴史文化基本構想（概要版）  
2020年3月31日  
発行・編集 小郡市教育委員会  
福岡県小郡市小郡 255-1



令和元年度文化庁文化芸術振興費補助金  
（地域文化財総合活用推進事業）